

## 7 裾野高等学校 実施報告書

1 実施日時 令和7年11月1日（土）10時00分から14時00分まで

2 実施場所 裾野高校 別館商業実践室A（裾野市佐野900-1）

### 3 実施内容

（1）タイトル 「静岡県スポーツ～知る・見る・学ぶ・体験する～地元スポーツを応援しよう！」

#### （2）内 容

地元プロスポーツチーム【アスルクラロ沼津・東レアローズ静岡・くふうハヤテベンチヤーズ静岡】を地域の人みんなで盛り上げたい。そんな思いを実現するために、選手の写真、ユニホーム、応援グッズ等の展示。また、選手が来校し、サイン会、トークショーを実施。



### 4 プロジェクトの概要

#### <テーマ設定>

「スポーツマネジメント」をテーマに課題研究を進めていく中で、高校生をはじめ、地域の人々のスポーツへの関心の低さを感じました。私たちの地元で活躍する静岡県のスポーツチームの認知度をあげ、ファンを増やすことで、スポーツを通じて静岡県の経済を活性化させることができるのでは、と考えました。スポーツをきっかけに、愛県心を高め、人口減少や若年層の他地区流失などの静岡県としての問題点の解決にもつながると思い、「静岡県スポーツ～知る・見る・学ぶ・体験する～地元スポーツを応援しよう！」と設定しました。

#### <イベント実施までのプロセス>

- ・ 5月：テーマ設定、生徒教員にアンケート調査
- ・ 6月：現状把握、企画立案、
- ・ 7月、8月：ボランティア活動に参加
- ・ 9月、10月：スポーツチームとの交渉、打ち合わせ、チラシ作成

・11月：イベント当日の運営、ボランティア活動に参加、アンケート調査

## <イベント当日>

「静岡県のプロスポーツを盛り上げよう」というテーマのもと、以下の3チームに協力いただき、展示と交流イベントを実施しました。

【アスクラロ沼津】選手を学校へ招いてのサイン会やトークショーを開催。サイン会は長蛇の列が並び、来場者からもとても喜んでもらえた。トークショーも同様に、会場一杯に生徒や保護者が来場し、選手から夢を持つことの大切さを学ぶことができました。ユニホーム、サイン入りグッズ、ポスターの展示も行いました。

【東レアローズ静岡】選手の写真、ユニホーム、サイン入りボールの展示。三島市役所の方にも協力を依頼し、三島市と東レアローズ静岡で共同作成した動画を放映しました。

【くふうハヤテベンチャーズ静岡：】等身大パネルを設置したフォトスポットの作成、サインボール等の展示を行いました。また、選手から若者に向けた直筆のメッセージをいただき、会場に展示しました。

企画・交渉では以前からのボランティア活動で築いた関係性を活かし、グッズ貸出や選手派遣の交渉を自ら行いました。その結果、校内に多くのポスターを掲示し、選手との交流の場を作ることができました。

展示設営：ではユニホームや貴重なサインボールを傷つけないよう丁寧に扱うとともに、説明がなくても「チームの魅力や躍動感」が伝わるよう、配置や角度、写真の見映えを追求しました。

## 5 感想

今回の活動を通して、スポーツマネジメントの難しさと楽しさの両面を肌で感じる事ができました。

「どう置けば一番見やすいか」「どうすれば応援したくなるか」を常に考える中で、自分中心ではなく、来場者や協力してくれる方々の視点に立って行動する大切さを学びました。フォトスポットでの撮影を促す声掛けなど、現場での「働きかけ」の必要性も強く実感しました。

事前の準備や企画立案には全力で取り組みました。展示スペースに隙間ができてしまったことや、もっと多くの生徒へ宣伝したかったという反省点もありますが、これらは「次回はどう改善すべきか」という具体的な成長の糧になりました。

「自分が楽しいと思える企画でなければ、お客さんも楽しめない」という気づきが、今回の一番の収穫です。この「自分の熱意」と「相手への思いやり」を両立させる考え方は、将来進学や就職をして、人と協力しながら仕事をする場面でも必ず役に立つと確信しています。

現在事後アンケートの集計がまとめている最中ですが、今回の企画がどれだけ認知度向上に寄与したのかを検証したいと考えています。多くのファンを輩出し、静岡県を盛り上げるきっかけにすることができれば私たちの企画が成功したと言えると考えています。

